

香取市で千葉県側に引き継がれた平和大行進！

鹿行各市の副市長や担当者が出入り口まで行進に参加！



6月29日（火）に北茨城を出発した、茨城県内平和行進は7月19日（水）の夕方5時、千葉県香取市の庁舎で千葉県側に引き継がれました。

県内平和行進最終になる鹿行5市の平和行進は、10時に百里平和公園内で出発式を行い、行進実行委員会委員長の風間さん、百里基地反対同盟委員長の梅沢優さん、全国通し行進者の木伏研一さん、県内通し行進者の加藤岑生さん、小美玉市議の福島さんの挨拶や決意表明を受けました。その後全体で記念写真を撮りました。

出発式は百里平和公園で・・・

銚田市では総務部長が出迎え、次の行方市では女性副市長が出迎えました。その後潮来市へ移動し、昨年と同様に庁舎内の会議室で昼食を取り、交流会を行いました。すべて潮来市職員組合が用意してくれました。

午後は、潮来市の副市長からの歓迎の挨拶を受けた後、市内を行進して途中からバスで鹿嶋市に向かいました。鹿嶋市の出迎えを受けた後、途中まで行進してバスで神栖市へ。神栖市では冷えたお茶の接待を受けました。

鹿行5市の訪問終了後、バスで千葉県香取市の庁舎へ。午後5時香取市庁舎の前で50人ほどが出迎えてくれました。その場で引き渡し式を行いました。

通し行進者は全国が木伏研一氏、県内が加藤岑生氏

全国通し行進者は宮城生協の木伏（きふし）研一さん、木伏さんは4年ほど前に癌で胃の全部を摘出したそうです。そんなことは露ほども見せず、明るく元気に沿道の人たちに手を振って行進していました。県内通し行進者は県原水協会長の加藤岑生さん。加藤さんは今年72歳になる年男の記念として通し行進を決意したそうです。



鹿行平和行進の参加者は大型バスでの参加が36人、潮来市での交流会は43人、鹿嶋市では45人でした。出迎えてくれた各市の副市長や担当者には、市役所の入り口まで一緒に行進していただきました。

鉄砲を互いに向け合って「殺し合う訓練をしていた」百里基地の自衛隊員！

鹿行平和行進の出発式は、例年通り百里平和公園で行われました。ウイークデーであったため、戦闘機の離発着の騒音は聞きしに勝るものでした。

式の最中、基地内では戦闘訓練が行なわれていました。自衛隊員同士が模銃で相手に狙いを定めます。頭部にあるセンサーに光が当たると「ピ・ピ・ピ・・・」という音が出ます。その音が出たら、「銃で相手の頭部を撃った」ということになります。

「相手の頭を銃で撃ちぬく」

訓練が始まった自衛隊の訓練！

（風間鹿行平和行進団長・談）

私は元自衛隊員でした。その当時は銃口を人に向けただけで懲罰を受けました。たとえ弾が入ってなくても容赦なく怒られました。「銃口を人に向けてはならない」ということは隊内で徹底してたたき込まれました。ふざけて一般市民に銃口を向けた自衛隊員が懲戒免職になったという話もありました。それくらい厳しい決まりでした。

ところが、今回見た訓練は、「相手の頭を銃で撃ちぬく」訓練です。殺し合う訓練です。昨年安保法制＝戦争法が強行採決されました。この戦争法を発動させるためにこのような「殺し・殺される」訓練もするようになったようです。本当に怖いことです。訓練していた自衛隊員は、私たちに見られていることを察知し、すぐに離れて行きました。戦争法は絶対に廃止しなくてはなりません。



「百里を語る会」開催



百里平和委員会・栗又 衛

7月23日（水）に百里公民館で、「百里を語る会」が行われ、9人が参加しました。この学習会は、百里基地反対闘争の歴史的事実を広く深く当時の日本さらには世界情勢の中で確認することと、その闘争の意義を検証し今後の百里基地反対運動さらには平和運動につなげていこうと開始したものです。

1回目となる今回は、伊達郷右衛門さんが講師となって、百里基地反対闘争の全般、参加者と共に自由に語り合いました。伊達さんは、「基地百里」「百里原農民の歴史」等の「百里」の歴史がわかる書籍を紹介しつつ、県労連の記念誌などのコピーを資料として、百里基地反対闘争を当時の社会情勢と関連づけつつ、その全体像を紹介してくれました。例えば、百里への誘致が表面化した1955年は、前年に自衛隊が発足する中で、保守合同、社会党の再統一、日本共産党の方針転換など、55年体制が確立した年であり、百里闘争を読み解く鍵がここにあるという指摘もありました。また、百里の開拓の歴史、神ノ池基地闘争なども話題になりました。

「百里を語る会」は今後も月1回程度のペースで開催することになりました。

次回は、8月23日（火）

次回は、8月23日（火）の10時から12時、百里公民館で行います。引き続き伊達さんに講師を依頼し、百里闘争の前史である戦前戦後の百里、神ノ池基地反対闘争等を取り上げる予定です。

平和新聞

2016年7月25日（月曜日）

2115号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 753

2016.7/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

【2016 茨城県平和委員会 定期大会の発言から】



茨城の自衛隊基地の動きをキチンとつかむことも重要な取り組み！

【那珂】6月11日・12日に日本平和委員会定期大会に参加したが、会員・平和新聞・理論誌の3点で最高を記録しており、盛大な大会だった。茨城と違っているところは、若者と女性の参加が多く、それぞれが積極的に役割を果たしていることだった。安倍首相は戦争する国づくりにまい進しているが、平和委員会は戦争する国づくりの具体化を許さないたたかいが必要だ。「わが町を戦争する国づくりの拠点にさせない」という分科会に参加した。百里基地と横田基地とが連携した、輸送機の訓練やオスプレイの訓練が強化されているという実態が埼玉から報告された。百里基地にオスプレイが来ることも考えられる。茨城には自衛隊の駐屯地は、勝田・古河・土浦・霞が浦と4つあるが、その動きをキチンとつかむことも重要な取り組みだと思う。

自衛隊に「適齢者名簿」を出すな！ 市役所総務課に申し入れ！

【守谷】自衛隊からの要請に応じた守谷市が、「適齢者名簿」を自衛隊に提出していることがわかったので、6月11日に市役所総務課に申し入れを行った。総務課長は6月1日付けで対象者643人分を紙媒体で自衛隊に提出したという。市長までの決着をしたといい、決着の書類も見せてくれた。「個人情報保護法等に触れないか」と問いただすと「総務省からも文書が出ている。自衛隊施行令もある。法律に基づいた適切な対応だ」といっている。

6月議会に「戦争法廃止」の陳情をした！

【美和・緒川】6月議会に「戦争法廃止」の陳情をした。不採択だった。陳情を討議した総務委員会で3人が発言した。公明党の議員は「この法律はすでに国会を通過している。今更このような陳情をして何になるのか」と言う。他の2人は、北朝鮮や中国の鼓動を上げ、このような法律がなければ国は守れないだろう。不採択にすべきだ」と発言し、結果は不採択だった。立憲主義破壊の視点は一切触れられなかった。

他の自治体の動きを知りたい。また自衛隊への「適齢者名簿」の提出をやめさせることはできないのか。

地元のスーパーの前で 2000万署名を何回も取り組んだ！

【下館】平和行進では、下館市内から古河まで行った。市民の会を結成し、許可を得て地元のスーパーの前で2000万署名を1回1時間ほどで何回も取り組んだ。毎回10人ほどが参加し、そのつど60~100筆集約した。スーパー前で実施するときには、店長の許可をキチンと取ることが重要になってくる。スーパーの前だけではなかなか難しいということもあり、難しくはあったが戸別訪問にも取り組んだ。これらの取り組みの結果は総計で2200筆になる。昨年9月12日は170人規模のデモ行進も開催しました。なかなか難しい面もあるが、これからも引き続き取り組んでいきたい。

2000万署名では3000筆以上を集約した！ 会報を市長や議員にも配布した！

【北茨城】議会へは「戦争法を慎重に審議してほしい」という趣旨の請願をした。議会の傍聴もした。議員の発言内容は、北朝鮮や中国の動きを言い立てているだけの残念な内容だった。2000万署名では3000筆以上を集約した。また4月16日に田村先生を呼んで憲法の学習会を開催した。100人も集まった。北茨城平和の会の取り組みを知ってもらおうと思って、会報を市長や議員にも配布した。お願いしたいことは、集会やデモの取り組みに際して、主催者の名称がいつも違っている。目的が同じなら同じ名称にしてもらえないだろうか。参加する側としては名称が変わってしまうと混乱する。何らかの対応をしてほしい。

市単位の市民連合を結成した桜川市！

【内原・友部】2000万署名は市内の4団体で取り組んで受け取り人払いの封筒を使って1000筆ほど集約した。市内の2つの高校生に対して配布した。受け取りはよかった。宣伝カーをつかった運動も、団体間で相談しながら取り組んでいる。

桜川市の市民連合では、昨日（6月18日）市民連合結成の集いが行われた。それを母体として参議院の取り組みが進むのだろうと思う。市単位の市民連合の結成は、県内では初めてだと思う。草の根の運動として取り組みが進むのだろうと思う。

石岡地域平和の会主催

平和のためのパネル展

と き：7月24日（日）～8月5日（土）

と ころ：小美玉市玉市四季文化会館みの～れ

（小美玉市玉市部屋（ひむろ）1069）

○ 戦場の人々（沖縄戦）

○ イラク戦争と子どもたち

（森住卓フォトレポート）

2016
平和のつどい
in 取手

8月21日(日)
取手市福祉会館3階
10時～17時

■ 上映 / ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」
13時～14時30分 小ホール（2階） 映画鑑賞料700円

■ 紙芝居 / 茨城大学紙芝居研究会 / 紙芝居の会（藤代）

■ 原爆パネル・沖縄戦パネル ■ 絵手紙 ■ 読み聞かせ
■ 戦争の語りべ ■ DVD「太平洋戦争」上映
■ すいとんコーナー ■ みんなで歌おう小ホール（2階）

原爆・沖縄戦パネル展示
7月24日～7月31日
藤代万善エンタランスホール

主催：平和のつどい in 取手実行委員会
実行委員長：石井啓一（あおぞら診療所所長）
後援：取手市、取手市教育委員会